



多くの生徒が参加しやすい授業の10の工夫



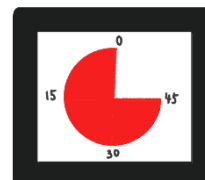
←ダウンロード
&詳細

① 授業の内容や流れを提示する

- ①課題提出
- ②漢字テスト
- ③読む
- ④考える
- ⑤振り返り

今日の授業の大まかな活動を授業のはじめに黒板などの隅に書いて確認すると、見通しが持ちやすい。終わった活動を消したり、今やっているところを矢印で示しても効果的！

② 活動の終わりをタイムタイマーで示す



残り時間が見てわかりやすいタイムタイマーを使うと、見通しとメリハリを持ちやすい。なかなか終わりにできない子には、終了時にアラームが鳴るようにすると区切りがつけられる子も。

③ こそあど言葉などを具体的に

それを取って → ○くんの机の上にある筆箱を取って

ここに提出して → 先生の机の上にある黄色いかごの中に提出して

④ ～しない！ではなく、～しよう！

ろうかを走らない！ → ろうかは歩こう

教科書を出たままにしない → 終わった授業の教科書は机の中にしまおう

⑤ 授業の節目を番号やアイコン付きカードに

①めあて

💡かんがえ

📖まとめ

めあて・目標・考えてみよう！など毎回の授業での節目は、流れの順に番号やアイコン、色分けなどで示すと手掛かりになり、よりわかりやすくなる。

⑥ イラストや視覚化してわかりやすく



イラストや写真を提示するとより理解しやすい。また、声の大きさや力の強さなど主観的なものは、数字であらわすようにすると効果的。このシートを無料公開中！



多くの生徒が参加しやすい授業の10の工夫



←ダウン
ロード
&詳細

⑦ 板書などは見やすい色で



男子の20人に1人の割合で色覚特性があり、赤など見づらい色がある。そのため、コントラストがはっきりした背景と色を使用すると誰もが見やすい素敵な板書に！

⑧ ユニバーサルデザインフォント

ひらがな
漢字
英語

UDデジタル教科書体は
Windows 10以降標準搭載

より多くの人が読みやすいUD(ユニバーサルデザイン) フォントを使用すると、より読みやすい素敵なプリントや課題に！

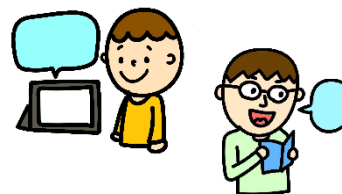
※学習障がいのあるお子さんが読めるようになるわけではない。

⑨ 様々なアウトプット手段を保障する



話すことが苦手でも、手書きの文章なら自分の思いを書ける子や、手書きだと時間がかかるけれど、スマホやPCだとスムーズな子も！

⑩ 様々なインプット手段を保障する



読むことが苦手もしくは困難さがあっても、読み上げたものを聞くことで内容をより理解しやすい子も！文章問題を教員が読み上げた時とそうでない時の点数差はあるか。

困難さのあるなしに関わらず、より多くの児童生徒にとってわかりやすい配慮や工夫を挙げてみました。

上記の工夫は授業だけでなく私たちの日常生活の場面でも役に立つこともあります。

私たちも、病院で順番待ちをしている時に『いつ呼ばれるのかわからないから、トイレに行っていいのか迷う』ということがあったりします。そのような時、何番目に呼ばれるのか掲示されていると見通しを持って安心できます。また年齢を重ねにつれ、新聞や本の文字が読みにくくなってきますが、スマホやタブレットで拡大して見ることもできる時代になりました。

このシートがどの子も自分の本来の力をより発揮しやすい環境や方法で学ぶことを保障する一助となりますと幸いです。

